

中尾 光輝 (Mitsuteru NAKAO)



配列解析チーム
(産総研特別研究員)

◎ 趣味はギターを弾けるようになることです(まだ弾けない)。

◎ 選択的スプライシングの影響によるタンパク質配列の多様化の分類をおこなっていました。今後はタンパク質の機能と配列の関連についてのパターン発見、分類、予測法の開発をおこないます。

寺崎 真樹 (Maki TERASAKI)



細胞情報チーム
(産総研特別研究員)

◎ PDAなどのデジタルガジェット

◎ MALDI-TOF-MSによる生体分子の新規ソフトイオン化法の開発をめざして研究しています。いままでの分子生物学分野での経験をいかして、研究をすすめていきたいと思えます。

池田 修己 (Masami IKEDA)



生体膜情報チーム
(テクニカルスタッフ)

◎ 5月よりCBRCに勤務しています。音楽鑑賞、旅行が趣味です。

◎ 物理化学的手法を用いた膜タンパク質構造分類手法の開発および分類データベースの構築や、文献情報をもとにした実験情報つきオルガネラ膜に局在するタンパク質データベースの構築を行います。

第3回人材養成シンポジウム 開催予告

例年秋に開催しております「産総研 生命情報科学人材養成コース シンポジウム」を本年も開催いたします。是非ご来場くださいますようお願い申し上げます。

期日：2004年 10月 1日 (金)

場所：日本科学未来館 7階
みらいCANホール
(東京都江東区青海2-41)



昨年のシンポジウムの様子

問合せ先：産総研 生命情報科学人材養成シンポジウム実行委員会
(Tel: 03-3599-8080)

シンガポールA*STAR Yeo 長官 来訪

5/21、Singapore's Agency for Science, Technology and Research (A*STAR) のPhilip Yeo長官らがCBRCに来訪され、CBRC幹部とこれからのバイオ研究の在り方などについて意見交換を行いました。



右から3人目: Yeo長官、
4人目: 秋山研究センター長

主な外部研究資金取得状況

(企業からの受託研究は除く)

- ・ 科学技術振興機構 DB高度化・標準化事業『シグナルオントロジーとバイオタームバンクの開発』福田 賢一郎^{*1}(研究代表者: 高木 利久)
- ・ 新エネルギー・産業技術総合開発機構 H16年度産業技術研究助成事業『マルチターン飛行時間型質量分析計とフーリエ変換サイクロトロン共鳴質量分析計を組み合わせたトップダウン・プロテオミクス装置の開発』高橋 勝利^{*2}(研究代表者: 豊田 岐聡)
- ・ 日本学術振興会 科研費(研究成果公開促進費)『タンパク質構造変化部位データベース』野口 保^{*3}(研究代表者)
- ・ 文部科学省 科研費 特定領域研究(2)『ゲノムワイドな構造・機能分類による膜蛋白質の機能理解: G蛋白質共役型受容体』諏訪 牧子^{*4}(研究代表者)、広川 貴次^{*5}
- ・ 文部科学省 科研費 萌芽研究『バイオインフォマティクスの構造予測にもとづいた神経栄養因子の一塩基多型の機能解析』広川 貴次(研究代表者: 小島 正己)
- ・ 文部科学省 科研費 若手研究B『大規模計算によるタンパク質切断解析データベースの構築』福井 一彦^{*6}

(*1: 数理モデルチーム 研究員、*2: 細胞情報チーム長、*3: タンパク質機能チーム長、*4: 副研究センター長、*5: 分子設計チーム長、*6: 大規模計算チーム 研究員)

出版物のご紹介

『The Practical Bioinformatician』(編: Limsoon Wong)

"Protein Localization Prediction" の章を分担執筆

著: Paul Horton^{*1}、向井 有理^{*2}、中井謙太

(*1: 配列解析チーム長、*2: 生体膜情報チーム 研究員)

発行: World Scientific (2004年5月24日)

ISBN: 981-238-846-X

人事異動のお知らせ

【新規採用】

・ 岩淵 紳一郎 [産総研特別研究員(細胞情報チーム)]

6/14付

・ 池田 修己 [テクニカルスタッフ(生体膜情報チーム)]

5/1付

編集後記
● 最近よく話題に上がる「成果」を辞書で引くと、日本語の同義語が少ないのに対し英語の候補は多く、result, fruit, effort, outcome, product, accomplishmentという具合に連なっている。resultなどと言われれば、良い悪いの関係ない単なる結果ではないかとすぐに思うのだが、それは本当は美味しいfruitになるもの芽を摘むことになるのかもしれないと思直してみたりする。● トマトは痩せた土壌で苛酷に育てた方がおいしくなると聞く。完熟マンゴーのように自然に落ちてくるのを待って出荷されるものもある。● 夏はいろんなfruitが育つ時期だ。実りの秋を前にどんな姿勢が「成果」につながるのかわからない。(土)

CBRCニューズレター第8号 / 2004年7月1日発行

編集発行: 独立行政法人 産業技術総合研究所

生命情報科学研究センター

〒135-0064 東京都江東区青海2-43 青海フロンティアビル17階

Tel: 03-3599-8080 (大代表), 8056 (広報) Fax: 03-3599-8081

E-mail: info@cbrc.jp URL: http://www.cbrc.jp/ 禁無断転載